



## 10月1日から始まる幼児教育・保育の無償化 副食費負担、県内でもまちまち

10月から幼児教育・保育の3、4、5歳の無償化が始まりますが、保育料に含まれていた副食費は無償化の対象外となり、利用者負担となります。しかし岡山県内でも、自治体で対応が異なっています。国基準では年収360万円未満世帯の子どもは免除、年収360万円以上世帯では、第1子の年齢によって第3子の免除対象が変わります。

すべての第3子以降の副食費無料が、津山、笠岡、真庭、美作、浅口市、勝央、美咲町です。井原、新見市、吉備中央町などは、すべての3、4、5歳児の給食費（主食費と副食費）、または副食費を全額補助です。

岡山、倉敷、備前市など10市町は、特別な措置は取らず、副食費を徴収します。岡山市の公立保育園では国基準どおり副食費4500円を、私立保育園は独自の額を10月から保育園で集めます。

### 補助の財源はある！ 便乗値上げ防止できるか？

9月議会では、私立認可保育園・認定こども園園長会から「3歳以上の年収360万円以上相当の世帯も含めた、副食費月額4500円を補助する」陳情が出されました。

岡山市当局は、「副食費は自宅で子どもを育てていてもかかるものであり、補助は考えていない」との見解でした。

「この制度では、国が保育料を負担するため、岡山市が保育料に入れている予算14億円が浮くから、5～6億円という副食費に充当すればいいのではないか」という意見が出されました。

「市立保育園は、副食費として一人当たり7000円から5000円弱の実費がかかっ

ているが、私立保育園は法人任せになるため便乗値上げがあったら困る、以前に給食食材費の領収書の書き換えなども起きている、監査はしっかりとできるのか」との質問に、当局は「便乗値上げや不正などないように、監査していく」と答弁しています。

私立保育園の副食費は、4500円弱から5500円くらいと幅があります。

### 子どもの成長発達の根幹を支える大切な食事

園長会指摘の「粗悪な食事提供がなされる」ことになったら、取り返しのつかないこととなります。保護者負担軽減と合わせて、指導監督等の仕組みづくりとしても独自補助制度が、是非必要です。

### 残念！陳情は継続審査扱い

対象人数が多く、予算確保が難しいことなどを理由に独自補助を行わないとするなら、浮いた14億円は、どこへ行くのか。岡山市の子育て支援が問われています。

## このみフォーラム 市政報告会

日時 **10月12日(土)10:30～**  
場所 **岡山市立東公民館**

私たちの生活に一番身近な岡山市政について皆さんと一緒に話したいと思えます。どなたでも参加できます。ぜひお越しください。

### 下市このみ事務所からのお知らせ

- ▼11月24日(日) 第12回下市このみ後援会親睦旅行「出雲神楽を見に行こう！」  
今年も日帰り旅行を計画しました。ぜひ一緒にしましょう。詳細は、下市このみ事務所までお尋ねください。
- ▼12月1日(日) 第41回ひまわりマーケット  
10時～ 高屋公園  
例年秋は11月に実施していましたが、今回は12月に実施します。大掃除前に、家庭用品などパザーに出してみてもいいかもしれません。
- ▼11月定例市議会 11/29(金)～12/17(火)